

こんなことが決まりました

第3回大台町議会定例会 9月10日～14日開催

- 平成30年第3回定例会で審議された議案などを報告します。
- なお、審議された議案で、採決の必要な議案は、全て全会一致で可決されました。

▼発議▲

- 議員から提出した議案
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書

▼報告▲

- 教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関する制度の拡充を求める意見書

基準以上になると、財政健全化計画を定めなくてはなりませんが、すべて基準を下回っています。

意見書は、教育関係団体からの請願を受け、議員が発

●平成29年度資金不足比率について

公営企業の会計における資金不足の状態を示す比率（指標）について報告しました。基準以上になると、経営健全化計画を定めなくてはなりません。

議したもので、国会や関係行政庁に送付されました。

町から提出した議案

水道事業会計、生活排水処理事業特別会計とともに、資金不足はなく、経営健全化基準を下回りました。

●出資法人(第三セクター)の経営状況について

平成29年度における出資法人（第三セクター）の経営状況について、表1（5ページ）のとおり報告しました。

●教育委員会の事務に関する点検評価報告について

平成29年度における教育委員会の事務の管理や事業の執行状況を自ら点検・評価を行い、報告しました。

▼同意▲

●大台町農業委員会の委員会の少なくとも4分の1を認定農業者等又はこれらに準ずる者とすることについて

農業委員会等に関する法律の改正に伴い、農業委員会の委員を町長が任命するにあたっては、認定農業者等が委員の過半数を占めなければなりませんが、例外措置として区域内の認定農業者の数が委員の8倍を下回る場合で、かつ委員の少なくとも4分の1を認定農業者等又はこれらに準ずる者とすることについての議案を提出し同意されました。

2号)

この補正予算は、台風20号による災害復旧費用で、大台町一般会計補正予算第2号)

▼諮詢▲

●人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める

人権擁護委員は町長が町議会の意見を聞いて推薦し、法務大臣が委嘱するボランティアの方たちです。町内には5名の委員がおみえになり、その内、1名

11月号で詳しくお知らせします。

▼承認▲

●専決処分の承認を求める

ことについて（平成30年度大台町一般会計補正予算第2号）

2号)

この補正予算は、台風20号による災害復旧費用で、農地農業用施設及び公共土木施設災害等で1,507万円を追加する補正予算です。

が今年12月末をもつて任期

のです。

起点・下三瀬字熊野往来下

認定

き松崎寛子さん（唐櫃）を
推薦することになりました。

●平成29年度各会計決算

の認定は、
各会計の決算の概要是表
2と表3のとおりです。

内容の審査については、議会の総務教育民生常任委員会に付託され、今後、産業建設常任委員会と合同で、細部にわたり審査されます。決算について詳しいことは、

来年1月号でお知らせします。

議案

●大台町町道路線の認定について（浦ヶ原2号線）

● 大台町町道路線の認定について（小橋線）

起点・江馬字浦デ 365・2
終点・江馬字浦デ 364・2

終点・板原字空出475
.. 栄原字大谷北459

續集 · 楊厚宇力名北 459

（高奈上三瀬旧道
について（高奈上三瀬旧道
線）

起点上三瀨字油谷

終点・下三瀬字熊野往来下

●大台町宮川特産品加工施設条例の一部改正について

●平成30年度大台町生活排

大台町弥起井地内は新しく建設中の宮川特産品加工施設の供用を開始するための改正です。

平成35年度大台町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

水処理事業特別会計補正予算（第2号）

起点..下三瀬字熊野往来下
終点..下三瀬字井戸田 383・3
378・2

道路法の規定により
点や終点を変更する場合も
議会の議決が必要です。

83万円減額し、約1億5
887万円としました。

（第3号）
補正予算の主なものは、

●平成3年度大台町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

補正予算の主なものは、歳入では、前年度決算による繰越金額の確定、歳出で

水処理事業特別会計補正予算（第2号）

計補正予算（第3号）

保険給付費や特定健康診査

額など、歳出では、日進保育園の浄化槽工事費の増額、清掃業務委託料の増額など、総額で約1953万円を追加しました。

●平成30年度大台町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

歳入では、前年度決算による繰越金額の確定、歳出では、保険料還付金など、総額で約240万円を追加しました。

○お知らせ

9名の議員が一般質問を行いました。町のホームページで映像をご覧いただけます。

また、議案は、役場本庁、総合支所、各出張所で閲覧することができます。

表1 出資法人（第三セクター）の経営状況（平成29年度決算）

法人名（会社名）	収 入		支 出	差 引
	売上高・営業外収益	補助金	売上原価・販売費及び一般管理費・営業外費用・法人税等	
㈱フォレスト・ファイターズ（造林事業）	7,088万7千円	617万6千円	7,327万0千円	379万3千円
㈱エム・エス・ピー（木材、建材の加工・販売）	3億5,914万1千円	一	3億3,934万8千円	1,979万3千円
㈱宮川物産（農林水産物の加工・販売）	3,905万3千円	一	3,884万3千円	21万0千円
㈱宮川観光振興公社（奥伊勢フォレストレスピア）	1億6,803万3千円	899万0千円	1億7,962万8千円	△260万5千円
道の駅奥伊勢おおだい㈱	2億6,958万9千円	一	2億6,820万1千円	138万8千円
㈱奥伊勢ハイウェイパーク（奥伊勢PA）	1億8,185万6千円	一	1億8,065万2千円	120万4千円

※㈱フォレスト・ファイターズの補助金617万6千円は、技能者育成や雇用安定確保のための国、県の補助制度によるものです。

※㈱宮川観光振興公社の補助金899万円のうち、855万円は町の補助金、44万円は国及び三重県緑化推進協会からの補助金です。

表2 一般会計・特別会計の決算状況（平成29年度決算）

		予算現額	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
一般会計		78億6,529万2千円	73億9万3千円	71億4,724万0千円	1億5,285万3千円
特別会計	国民健康保険事業	15億5,558万7千円	15億6,218万3千円	15億748万2千円	5,470万1千円
	住宅新築資金等貸付事業	103万3千円	82万7千円	100万7千円	△18万0千円
	介護保険事業	16億2,715万4千円	16億3,024万5千円	15億9,639万9千円	3,384万6千円
	生活排水処理事業	3億1,179万1千円	3億1,226万5千円	3億695万1千円	531万4千円
	後期高齢者医療事業	3億1,331万4千円	3億1,486万9千円	3億1,246万5千円	240万4千円

※一般会計の歳入歳出差引額のうち2,397万円は、繰越事業の財源として平成30年度で決められた事業に使われます。

※住宅新築資金等貸付事業特別会計の不足する18万円については、地方自治法施行令の規定により、平成30年度の歳入から繰上充用を行いました。

表3 水道事業の決算状況（平成29年度決算）

水道事業収益（収入）		水道事業費用（支出）	
営業収益（給水収益等）	2億36万1千円	営業費用（浄水費・配水費・給与・減価償却費等）	5億6,004万2千円
営業外収益等（補助金等）	2億4,250万7千円	営業外費用（企業債の支払利子等） ※特別損失含む	5,617万2千円
計	4億4,286万8千円	計	6億1,621万3千円
△ 1億7,334万5千円			

議会だより

●全員協議会

9月6日に開催された協議会では、担当課長から空き家対策の担い手強化・連携モデル事業、農山漁村振興交付金、B&G海洋センター共用棟・管理棟改修工事、町の財政計画、大台町国民保護計画の修正について報告や説明があり、質疑応答を行い、意見が交わされました。

対し送付させていただきました。

議会（各委員会）の活動状況を紹介します。

●議会運営委員会

9月5日に開催された委員会では、町から第3回定期例会に提出する議案の説明を受け、議会の会期や審議の日程、会議の進め方、請願書や意見書の取扱い等について協議しました。

●産業建設常任委員会

9月6日の委員会では、宮川特產品加工施設建設工事現地調査の実施について協議をしました。9月21日に宮川特產品加工施設本田木屋工場と弥起井地内の新工場建設現場を視察調査しました。

●総務教育民生常任委員会

9月13日に委員会の調査・研究テーマであるフツ化物洗口について、川添保育園の園児が実施している様子を視察し、その後、日進保育園新園舎の工事現場を視察しました。



川添保育園視察の様子

新しい民生委員を紹介します



下楠区 西村俊春さん 下菅区 中野典子さん

民生委員は、社会奉仕の精神をもって地域の見守りや相談活動を行い、関係機関と連携して社会福祉増進に努めています。

お困りごとなど自分では解決できない事柄について、お気軽にご相談ください。

問役場町民福祉課 ☎ 82-3783

J A 自慢のコシヒカリを社会福祉協議会へ贈呈



9月5日、多気郡農業協同組合から大台町社会福祉協議会へ、今年の新米のコシヒカリ『ぎんひめ米』が贈呈されました。この取り組みは、地域の高齢者においしい地元産のお米を味わってほしいと毎年行われており、贈呈されたお米は社会福祉協議会が行う給食サービスで地域の高齢者に振る舞われました。